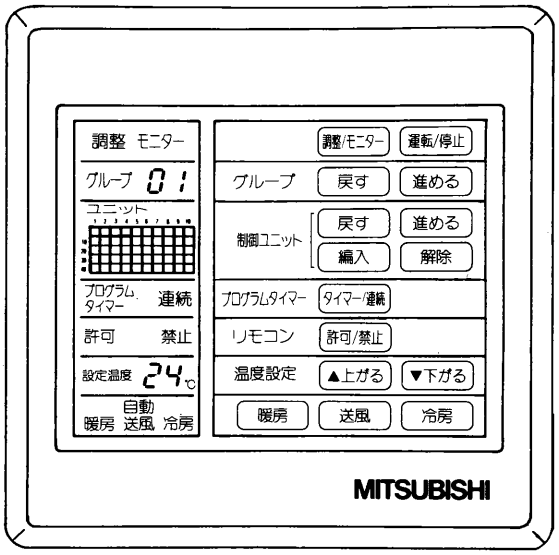
MITSUBISHI

三菱空調管理システム　別売部品

集中管理リモコン　　形名 PAC-SA70NR

取付・取扱説明書



もくじ　　ページ

1．適用機種…… 1
2．製品の特徴…… 1
3．配線方法…… 1
4．取付方法…… 1
5．取扱方法…… 4
〔1〕集中管理システムの組み方…… 4
〔2〕集中管理リモコンへの運転パターンの設定…… 15
〔3〕集中管理リモコンの操作方法…… 17
6．配線系統図…… 19
7．サービスをお申しつけの前に…… 26

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みください。

取付をされる方へお願い

全ての作業が完了しましたら、お客様にこの説明書で取扱い方を説明のうえ、お渡しください。

このたびは、三菱空調管理システム　別売部品、集中管理リモコンセットをお買上げいただき、まことにありがとうございました。

製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

1 適用機種

ミスタースリム、シティマルチ(Ｆ＆Ｓシリーズ、Ｙシリーズ、水熱源シリーズ)、霧ヶ峰のＫ制御機種。

2 製品の特徴

最大50台までのエアコンをコントロール。個別運転用のリモコンは、25個まで取付可能です。次のような運転ができます。

(1) 個別制御　集中管理リモコンから各ユニットごとに
・運転／停止・冷房／送風・暖房の運転切換・温度設定ができます。
冷暖自動運転の選択は室内ユニットで行います。詳細は室内ユニットの取扱説明書を参照してください。冷房専用機種に対して暖房運転を指令した場合は、そのユニット(グループ)は停止します。

(2) 各ユニットをグループ編成し、グループ毎の運転制御
グループ単位で(1)と同じ制御が可能です。

(3) 各ユニットのリモコン運転の許可／禁止を選択
許可：集中管理とリモコンとの併用運転　　禁止：集中管理のみの運転

(4) 全ユニットを一斉にON(順次起動)、一斉にOFF

(5) 全ユニットの運転／停止／点検モニター機能
全ユニットの現在の運転状態が表示されます。

(6) 別売の「プログラムタイマー」(PAC-SA72PT)と組合わせて、グループ単位で人手を省いたタイマー運転機能

(7) 別売の「スケジュールタイマー」(PAC-SA71ST)がプログラムタイマーと同様に接続可能

3 配線方法

19ページの配線系統図にしたがって配線してください。

4 取付方法

このセットには、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

集中管理リモコン…１個　　６芯ケーブル(1.2m)…１本　　タッピングネジ 4×12…４本　　タイラップ…６本

データメモリー……１個　　木ネジ 4.1×16……10本

集中管理リモコンセットは、盤用ボックスに取付けることを標準としています。付属のデータメモリーはボックス内に取付け、集中管理リモコンは扉に取付けてください。

(1) 使用可能な盤用ボックス　有効寸法　320×250×90以上

例）松下電工(株)製、盤用ボックス　BON4-35-12
（木板ベース）以上の大きさ

(2) データメモリーの取付け　（図１）
付属の木ネジ（4.1×16）４本で盤用ボックス内に固定します。

(3) 集中管理リモコンの取付け　（標準リモコンと同じ外形）（図２）
リモコンカバーを取外し(図３)、盤用ボックス扉に付属のタッピングネジ(４×12)２本で固定します。

※ プログラムタイマーを併設する場合は、プログラムタイマーの取付説明書をあわせてご覧ください。

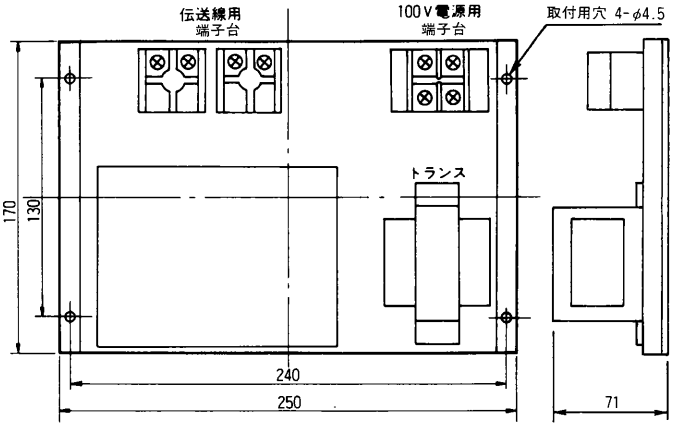


図１．データメモリー外形図

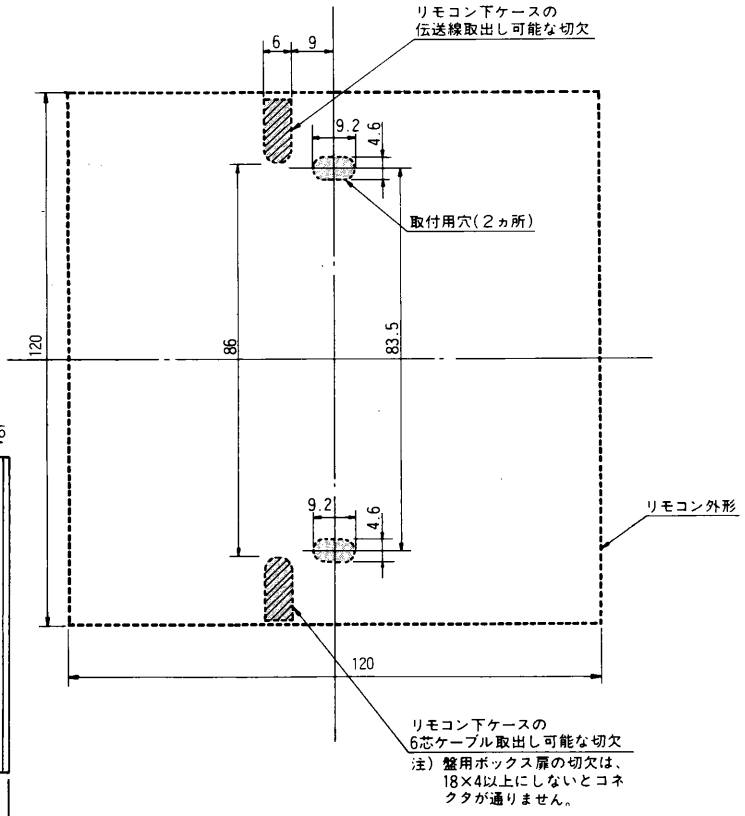


図２．リモコン取付穴、伝送線・６芯ケーブル取出し用穴の配置
（リモコン表面側から見た配置）

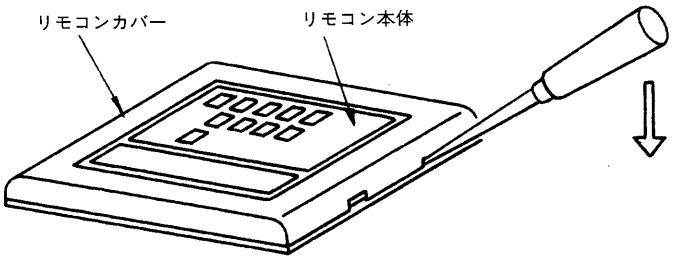
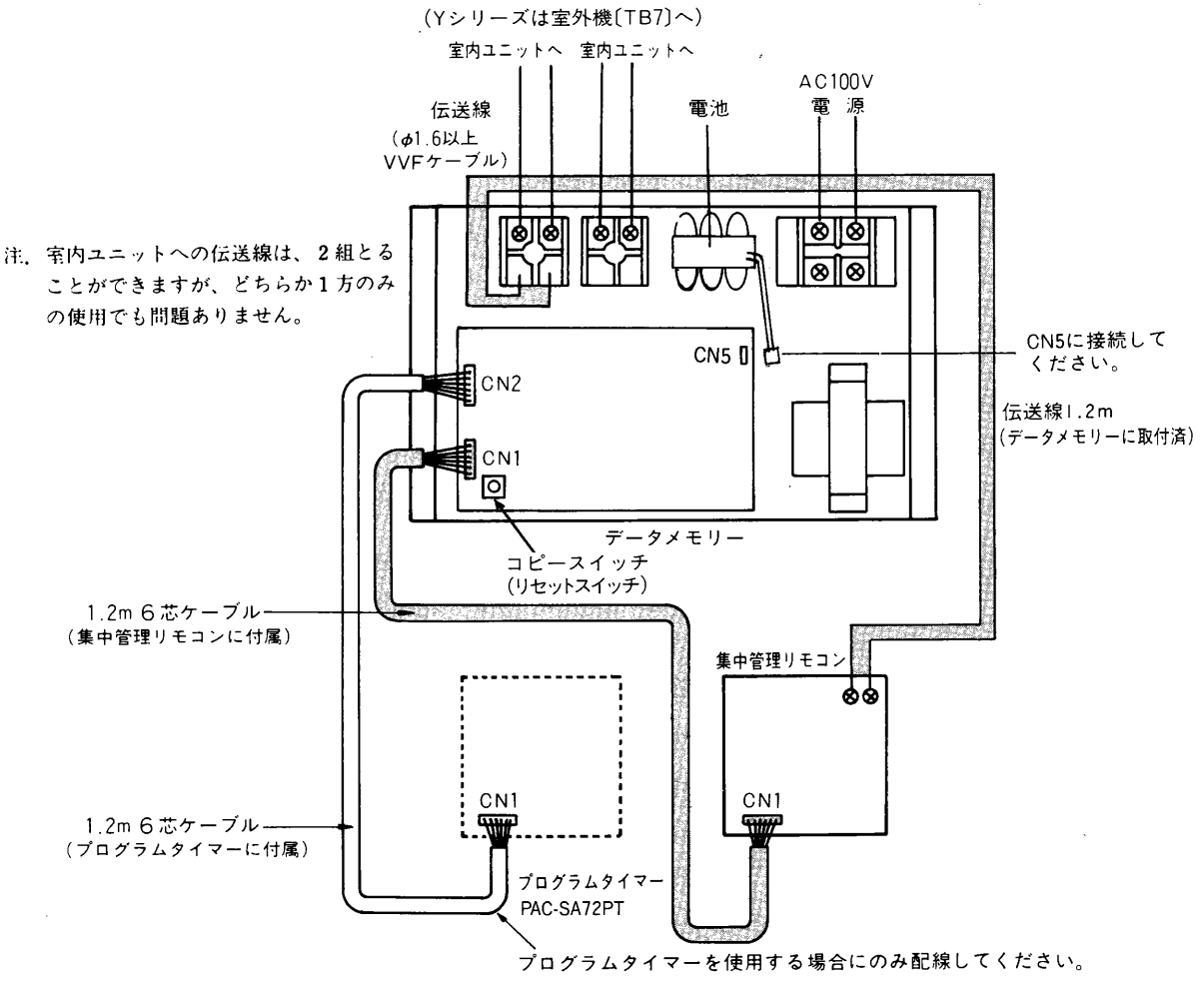


図３．リモコンカバー取外し方法

リモコン下部に設けられた２ヶ所のドライバー差し込み口のいずれか一方にドライバーを差し込み、テコの要領で、フックをはずします。片側のフックがはずれたら、反対側も同じ方法ではずします。

ご注意　ドライバーを差し込んだ状態で回転させないでください。
傷がついたり、爪がこわれてしまうことがあります。

データメモリーへの配線接続方法



(i) データメモリーの伝送線端子盤から集中管理リモコン端子盤に伝送線を接続します。(0.8mm以上2芯)

(ii) データメモリー基板上コネクタCN1と集中管理リモコンCN1とを付属6芯ケーブル(1.2m)で接続します。
(別売プログラムタイマー(PAC-SA72PT)を取付ける場合は、
データメモリー基板上コネクタCN2とプログラムタイマーCN1とをプログラムタイマーに付属の6芯ケーブル(1.2m) で接続します。)

(iii) 電池用コネクタをデータメモリー基板上コネクタCN5に接続します。
(停電時に記憶データをバックアップします。
工場出荷時は電池の消耗防止のため、コネクタが接続されていません。)

(iv) AC100V電源用端子盤にAC100Vの電源配線をしてください。

(v) 付属のタイラップと木ネジを使ってリード線に無理な力がかからないようにリード線を固定してください。
(タイラップは各リード線に1本使用してください。)

(vi) 集中管理リモコンのコネクタ接続が終りましたら、カバーを取付けます。

(vii) 盤用ボックスおよびデータメモリーは必ず第3種接地工事を行ってください。(アース線太さφ1.6以上)

ご注意

集中管理リモコンへ配線する場合、集中管理リモコン又は電線管等の配線取出部分はパテで確実にシールしてください。
ドレン配管、電線管、壁等に結露した水が、リモコンコードを伝わってリモコン内部に、侵入するおそれがあります。
(詳細は27ページを参照ください。)

※ここでは集中管理リモコンセット部の配線接続方法のみ説明していますが、この他、データメモリーと各室内ユニットとの伝送線配線が必要となります。(配線系統図を参照ください。)

※付属6芯ケーブル(1.2m)の延長はできません。集中管理リモコン又はプログラムタイマーを盤用ボックス扉以外の場所に取付ける場合は、付属6芯ケーブルの配線可能な範囲に取付けてください。

※ 現地で配線長さを追加して施工されますと、外来ノイズ等による誤動作の恐れがあります。

※ 別売スケジュールタイマー(PAC-SA71ST)もプログラムタイマーと同様に取付可能です。詳細は、取付説明書をご覧ください。

＊電池の交換方法

集中管理システムでは、データメモリーに記憶されているデータを停電時は電池によりバックアップしています。停電保障時間は延べ240日(8ヶ月)ですが使用5年を経過したものについては交換をお勧めします。

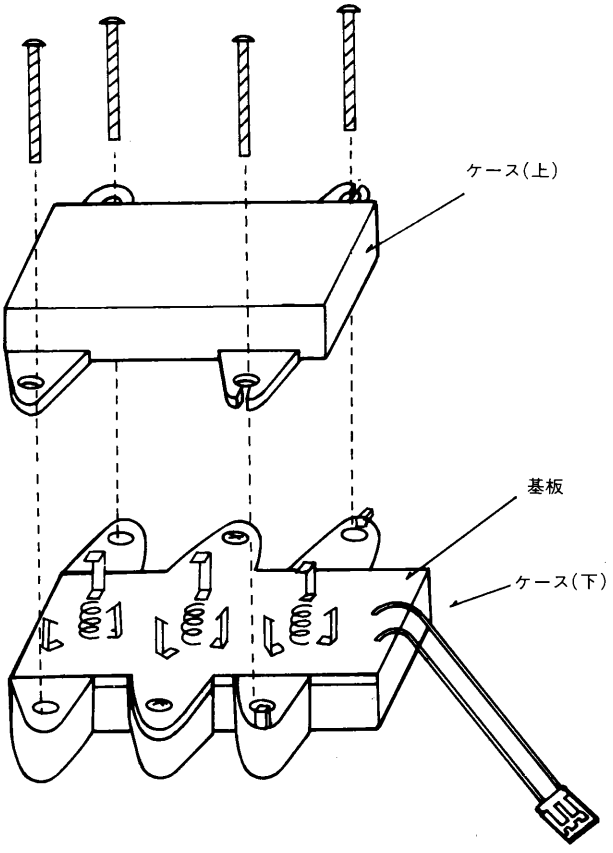
電池交換は、データメモリーの100Ｖ電源を切らずに行なってください。電池交換中に100Ｖ電源が切られると、データメモリーに記憶されたデータが消えてしまいますのでご注意ください。

(1) 交換用電池

アルカリボタン電池
ＬＲ44×３個

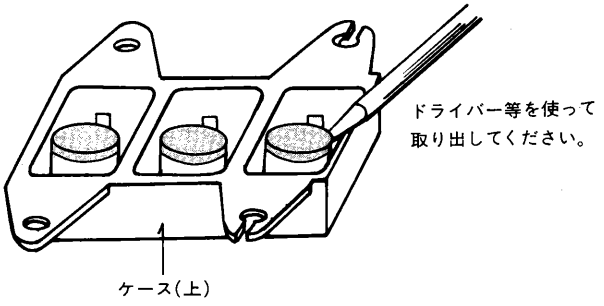
(2) 交換方法

① 電池ケース取付ネジ4本をとりはずします。
(中央部2本は取外す必要はありません。)



② ケース(上)の中に電池が3個収納されています。ドライバー等を使って取出してください。

③ 新しい電池をセットし、もとどおりに取付けてください。

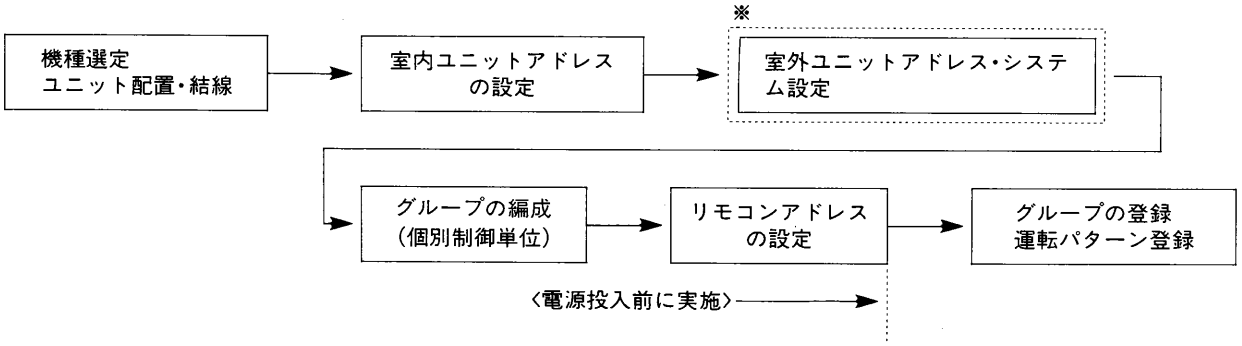


※電池は、３個共交換してください。

5 取扱方法

〔1〕集中管理システムの組み方

集中管理システムを組む場合、次の順序に従って設計・配線を行ってください。



※集中管理システム内にシティマルチFシリーズ、Yシリーズ、ミスタースリムデマンドマルチシリーズの室外機がある場合に必要となります。

(1)室内ユニットアドレスの設定

集中管理システムとして使う為には、室内ユニットは、個々に異なるアドレス(番号)を設定登録しなければなりません。ただし、ツイン、トリプルタイプの室内ユニットのみ2(3)台同じアドレスを設定します。また、F＆Sシリーズ、水熱源シリーズの室内ユニットについては、制御箱を取付けた室内ユニットのみがアドレス設定の対象となります。
これは、集中管理リモコンが室内ユニットを個々に区別するのに必要なためです。
次のような場合にはシステムは働かず、運転しませんので注意してください。

- ●ユニットアドレスを設定しない時
- ●同じユニットアドレスを2台以上の室内ユニットに設定した時

アドレスの設定方法 〈室内ユニットについて〉

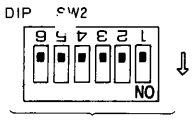
システムを組む全ユニットに1から順番にアドレス(番号)を決めてください。(グループ編成を先にした方が判りやすい場合もあります。)この時なるべく運転制御パターンが似ているユニットを連続させると、後のグループ編成が楽になります。このアドレスは同時に集中管理リモコン上のモニター表示の番号と一致します。

①ミスタースリム、霧ヶ峰の室内ユニット

全ユニットの室内コントローラボードを次のようにセットしてください。

1) コントローラボード上の短絡用コネクタCN40を取外します。
2) コントローラボード上のSW2のディップスイッチにより、ユニットアドレスを登録します。SW2は、コントローラーボードによって6極のものと8極のものがあります。それぞれ次の要領でアドレスを設定してください。

(6極の場合)

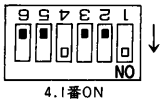


1~6番全てのスイッチを使います。

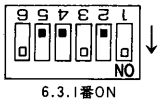
1～6番のスイッチは、それぞれ2進法で次のアドレス設定ができます。

スイッチ	6番ON	5番ON	4番ON	3番ON	2番ON	1番ON
アドレス	32	16	8	4	2	1

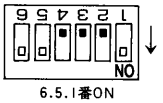
(例—1)アドレス9登録
9＝8＋1

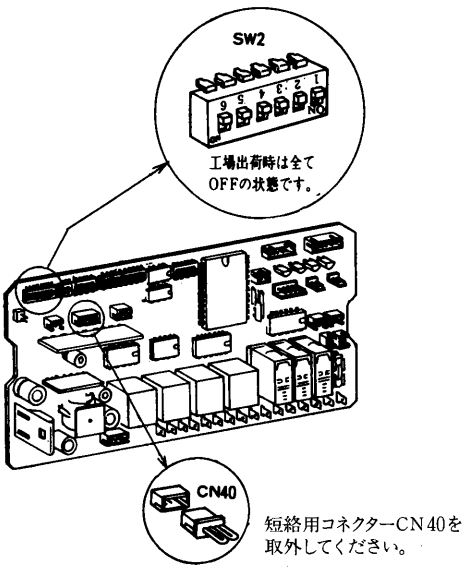


(例—2)アドレス37登録
37＝32＋4＋1

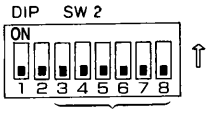


(例—3)アドレス49登録
49＝32＋16＋1





（8極の場合）

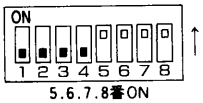


3～8番のスイッチを使います。

3～8番のスイッチは、それぞれ2進法で次のアドレス設定ができます。

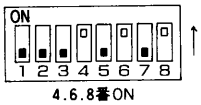
スイッチ	3番ON	4番ON	5番ON	6番ON	7番ON	8番ON
アドレス	32	16	8	4	2	1

(例－1)アドレス15登録
15＝8＋4＋2＋1



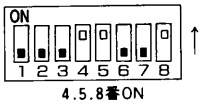
5.6.7.8番ON

(例－2)アドレス21登録
21＝16＋4＋1



4.6.8番ON

(例－3)アドレス25登録
25＝16＋8＋1



4.5.8番ON

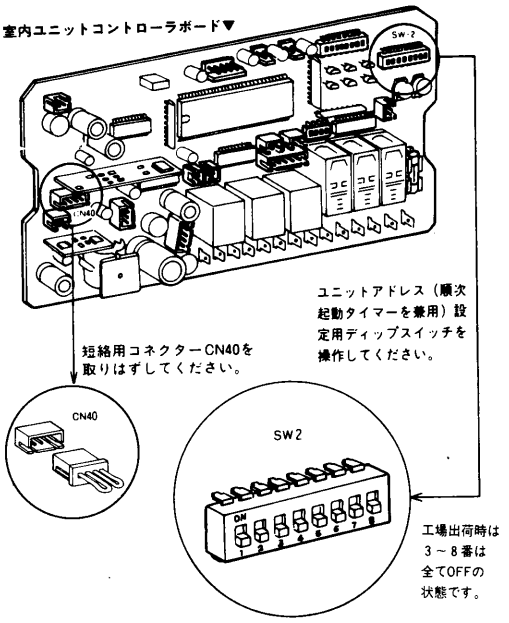
※ツインタイプは、1号機、2号機とも同一のアドレスとしてください。

※トリプルタイプは1号機、2号機、3号機とも同一のアドレスとしてください。

※デマンドマルチシリーズの室内ユニットは15以下のアドレスを設定して下さい。16以上では運転しません。

※1番、2番のスイッチは、機種によって設定が異なりますので実際は上の例と違う場合があります。

室内ユニットコントローラボード▼



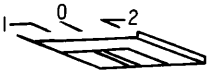
②F＆Sシリーズ、水熱源シリーズの室内ユニット

ファインマルチの場合、同一冷媒回路に接続される室内ユニットアドレスは必ず連番としてください。連番としない場合には、運転できません。

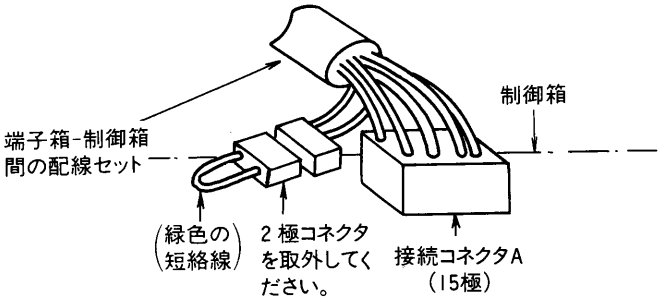
制御箱(CME-1L-A・BまたはCME-1D-A・B)を取付けた室内ユニットのスライドスイッチおよび制御基板などを次のようにセットしてください。

1）制御箱上のスライドスイッチを"0"にセットします。

2）室内ユニット形名がNタイプの場合
　制御箱の接続コネクタA(15極)に接続されている配線セット途中に取付けてある短絡用2極コネクタを取外します。



工場出荷時
0に設定していますので確認ください。



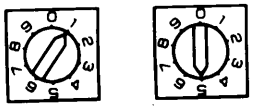
3）室内制御基板上のコネクタCN40を取外します。

4）室内制御基板上のSW2のディップスイッチにより、ユニットアドレスを設定します。（設定方法は、前述のミスタースリム、霧ヶ峰と同様です。）

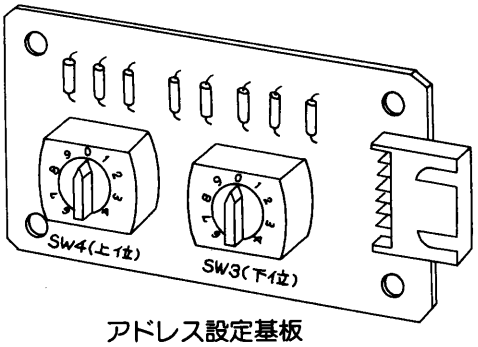
③Yシリーズの室内ユニット

全ユニットのアドレス設定基板にアドレスを登録する。

(例-1)
アドレス 15の登録

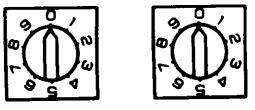


SW4　SW3



アドレス設定基板

＊ここで登録したユニットアドレスは、接続されるYシリーズ室外機にも登録する必要があります。

	工場出荷時の設定	内　容
SW3 SW4	 SW4(10の位)　SW3(1の位)	ユニットアドレス設定用 SW3：1の位 SW4：10の位

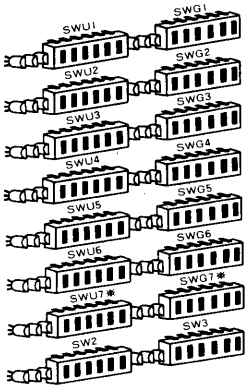
(2)室外ユニットの設定

アドレスの設定方法　室外機について

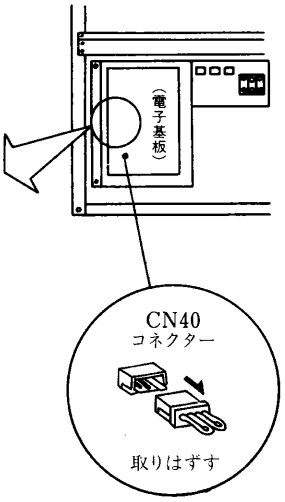
①Yシリーズ室外機

シティマルチYシリーズを集中管理システムに組込む場合は、室外機のコントローラーボードを次のようにセットしてください。

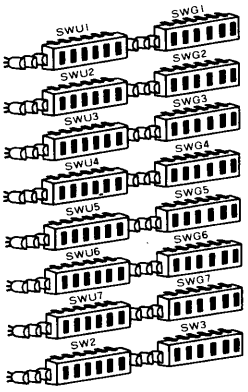
□PUHY-125・140(PUH-5〈Y5〉・〈Y6〉)



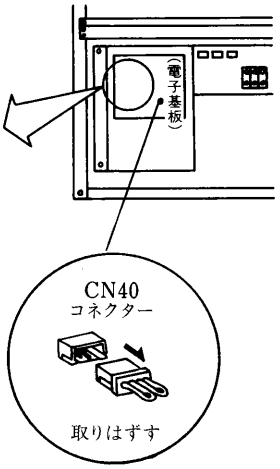
(室外機サービスパネル内部)



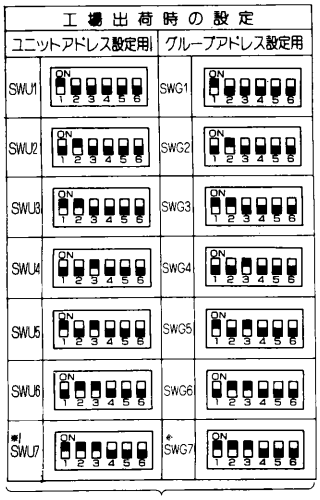
□PUHY-200(PUHY-8〈Y8〉)

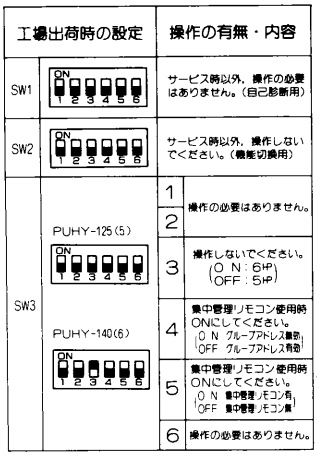


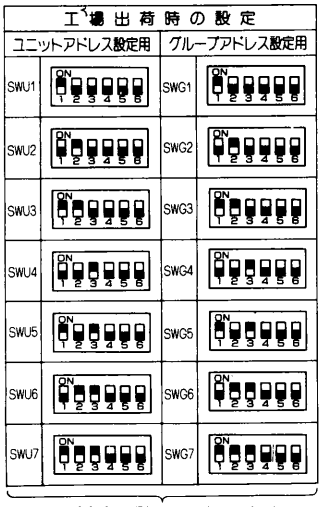
(室外機サービスパネル内部)

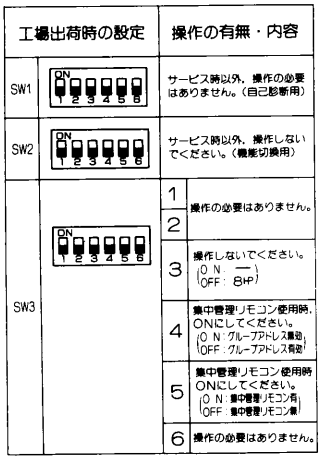


イラストはPUHY-140(6〈Y6〉)のものですので、
※印のスイッチ(SWU7・SWG7)は、PUHY-125(5〈Y5〉)にはありません。





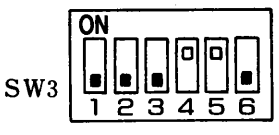




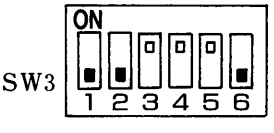
1) コントローラボード上の短絡用コネクタCN40を取外します。

2) コントローラボード上のSWU1～SWU7〔PUHY-125(5〈Y5〉にはSWU7がありません〕に各号機に対応する。
室内ユニットのアドレスと同じアドレスを設定します。未接続の号機に対してはアドレス0をセットしてください。

3) SW3の4・5番をONにしてください。(この設定により、SWG1～SWG7に設定されたグループアドレスは無効となります。)



PUHY-125(5)
PUHY-200(8)



PUHY-140(6)

②F&Sシリーズ(ファインマルチのみ)室外機

集中管理システムとして使うためには、接続室内ユニットに対応したユニットアドレス設定およびシステム設定を登録しなければなりません。但し、シンクロマルチの室外機は、登録不要です。(出荷時の仕様のまま)

※室外ユニットがPUHF-2502、PUHU-125・5の場合は、1号機・2号機のそれぞれについて設定が必要です。

1) 室外ユニットアドレスは、冷媒配管にて接続される室内ユニットのユニットアドレス(通常2個)の内、小さい数字と一致させます。

(例－1)接続室内ユニットアドレス5番、6番の時室外ユニットアドレスは5番となります。

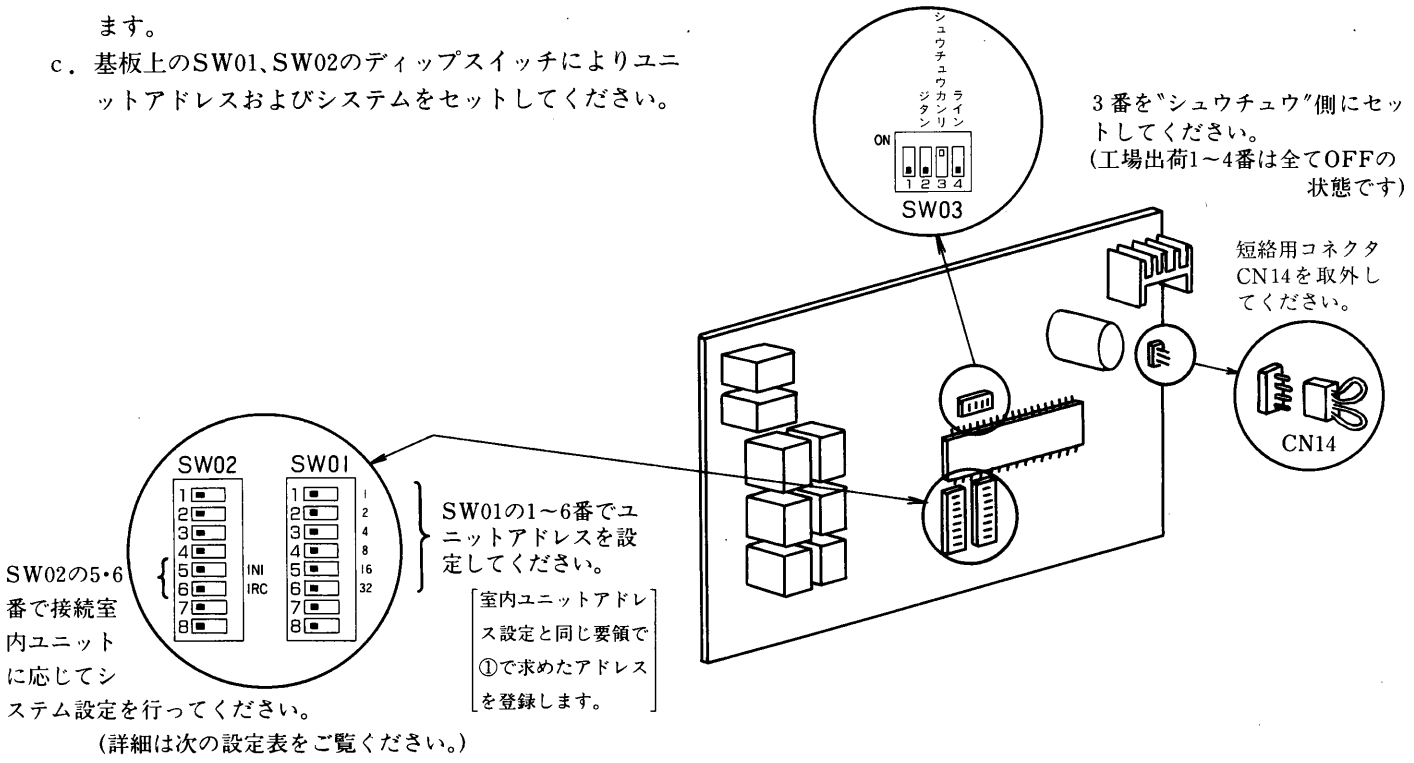
(例－2)接続室内ユニットアドレスが21番、22番の時室外ユニットアドレスは21番となります。

2) 室外ユニット制御箱内の制御基板を次のようにセットしてください。

a. 短絡用コネクタCN14を取外します。

b. 基板上のSW03の3番を"シュウチュウ"側にセットします。

c. 基板上のSW01、SW02のディップスイッチによりユニットアドレスおよびシステムをセットしてください。



ファインマルチのシステム設定表(室外基板SW02の操作)

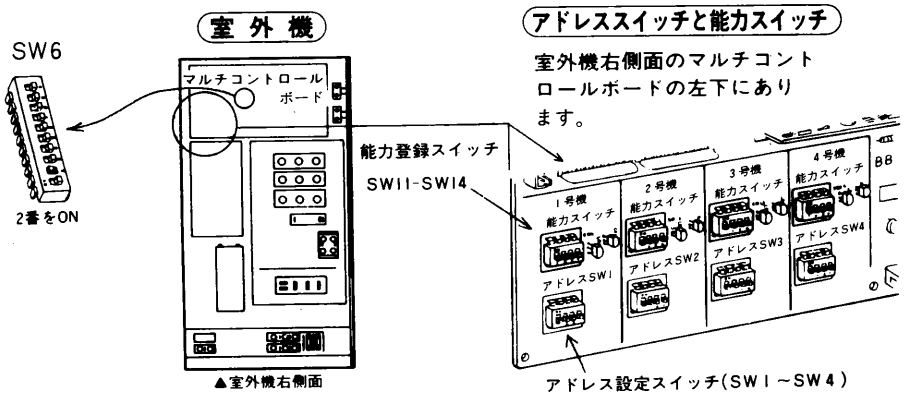
システム区分	標準システム	応用システム 1	応用システム 2
システムの具体例	右記に記載のシステム以外 ①PUHF-125-5 ②PUHF-125-5 63(N) ×2 63(N) 32(N)×2(同時) ③PUHU-125・5 32(N)2	①PUHF-5 ②PUHF-5 63N 32N×2(同時) ③PUHU-125 5 ④PUHF-2502 32(N) 63	①PUHU-125 5 63(N)
システム設定 (SW02の5・6番の設定)	SW02 INI IRC 5番・6番共にOFF	SW02 INI IRC 5番ON、6番OFF	SW02 INI IRC 5番・6番共にON

③デマンドマルチシリーズ室外機

デマンドインバータマルチシリーズを集中管理システムに組込む場合は、室外機のコントロールボードを次のようにセットしてください。

1）コントロールボード上のSW1～SW4〔3室用機種にはSW4はありません〕に冷媒配管にて接続される室内ユニットと同じアドレスをそれぞれ登録します。またSW11～SW14〔3室用機種にはSW14はありません〕に同ユニットの能力コードを登録します。（室内ユニットが接続されていない号機の登録は、アドレス、能力コードとも0にしてください。）

2）コントロールボード上のSW6の2番をONにします。



(3) グループの編成

個別運転管理するユニットごとに全ユニットをグループ編成してください。

- 1台でも1グループと考えます。集中管理側より個別の運転指令、冷／暖切換をしたい単位を1グループとして下さい。(基本的には、Totalのリモコン数量がグループ数と一致します。)
- 1リモコンで複数台グループ制御をしている時は、このグループが集中管理システムのグループと考えてください。
- 1グループには2個までリモコンをつけることが可能です。グループ内のユニットはどちらのリモコンの指令でも反応しグループ内全ユニットが設定変更します。

※集中管理リモコンに表示されるグループNo.は、グループの順番(1、2、3、4～)ではなく、該当するグループ内の最小のユニットアドレスと同じ数を表示することになりますのでご注意ください。グループ編成時には、最初にアルファベットでグループ分けしてからグループNo.を決定するとわかりやすくなります。(例 アドレス4～8のユニットを1グループと設定すると、グループNo.は「4」となり、次のグループNo.は「9」となります。)

※デマンドマルチシリーズの室外機に接続された室内ユニットには15以下のアドレスを登録し、1グループ1ユニットでグループ編成を行ってください。16以上のアドレスを登録したり、複数台でグループを構成するような使用はできません。

※ファインマルチの場合、同一冷媒回路に接続される室内ユニットを極力同一グループとしてください。別グループとして異常停止した場合には、双方のグループをリセットする必要があります。

(4)リモコンアドレスの設定

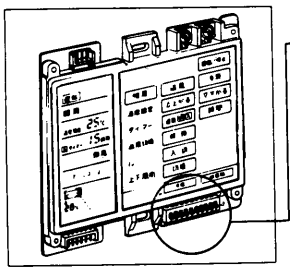
システムを組む全ユニットについたリモコンにリモコンアドレス(番号)を設定します。

アドレスの設定方法

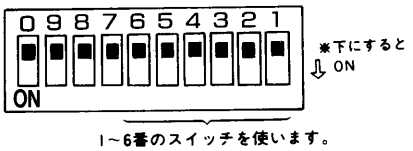
①(2)で決定したグループ単位に設定します。グループ内ユニットの最小のユニットアドレスがリモコンアドレスとなります。

②グループ内にリモコンが2コある時は、同じリモコンアドレスとなります。

③右図のようにリモコンアドレスを登録してください。



リモコンカバーをはずし、○内のディップスイッチを使います。



スイッチ	6番ON	5番ON	4番ON	3番ON	2番ON	1番ON
アドレス	32	16	8	4	2	1

(1)のユニットアドレス登録同様1～6番のスイッチを組合わせてリモコンアドレスを登録してください。

(5)アドレス設定・グループ編成の仕方

F＆Sシリーズ ミスタースリム、インバータYシリーズ、デマンドマルチシリーズの各機種を用いたシステムを例にとり、説明します。(本図では、説明のために、同一冷媒系統のファインマルチ形室内ユニットを別グループに設定しています。)

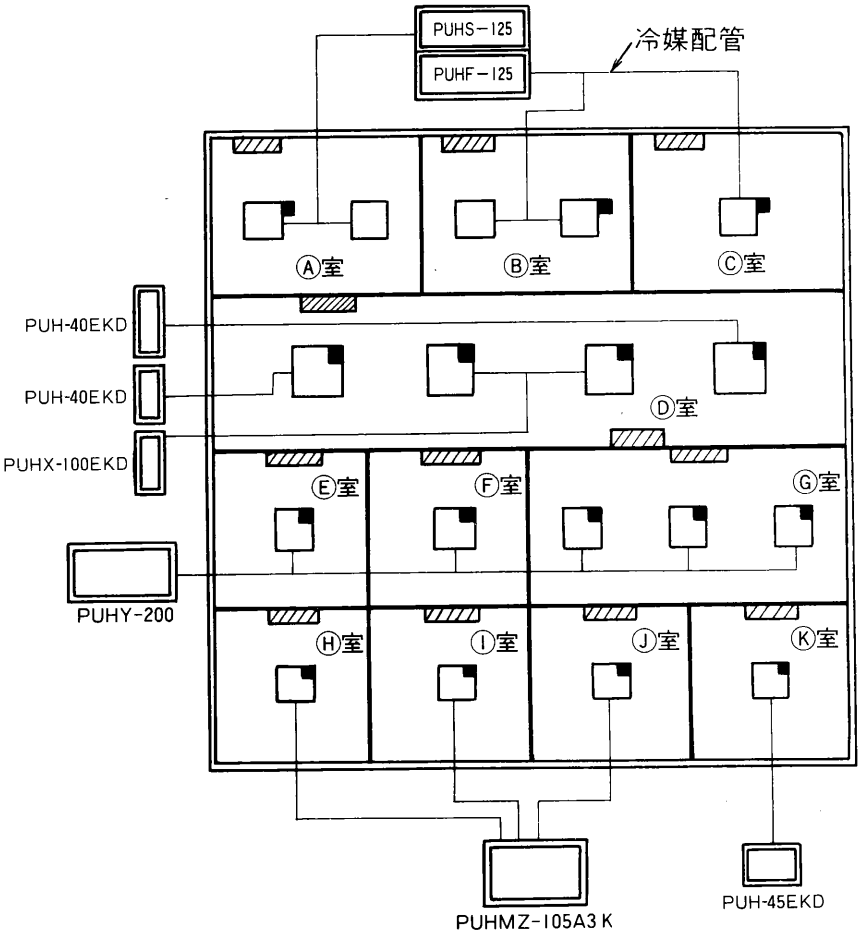
室内ユニット

制御箱又は
インドアコントロールボード

室外機

リモコン

〈配 置 図〉



	室内機種名	接続室外機種名	内　　容
Ⓐ 室	PLHS-63×2台	PUHS－125	2台同時運転
Ⓑ 室	PLHF-32×2台	PUHF－125	2台同時運転
Ⓒ 室	PLHF－63		個別運転
Ⓓ 室	PLH－40EKD	PUH－40EKD	グループ制御（2リモコン）
	PLH－40EKD	PUH－40EKD	
	PCHX-100EKD	PUHX-100EKD	
Ⓔ 室	PCHY－50K	PUHY－200	個別運転
Ⓕ 室	PLHY－50EK		個別運転
Ⓖ 室	PLHY-40HK×3台		グループ制御
Ⓗ 室	PCH－35EKZ	PUHMZ-105A3K	個別運転
Ⓘ 室	PCH－35EKZ		個別運転
Ⓙ 室	MEH－35AFS-Z		個別運転
Ⓚ 室	PLH－45FKD	PUH－45EKD	個別運転

①室内ユニットアドレスの設定

- ●制御箱の取付けてあるユニットとインドアコントロールボードを内蔵しているユニットにアドレスをA室から順番に1～15とします。
- ●A室、B室の制御箱の取付けていないユニットのアドレス設定は不要です。
- ●D室のツインタイプの室内ユニットには、同じアドレスを設定します。
- ●B室のPLHF－63とC室のPLHF－32は同一冷媒回路となるのでユニットアドレスは連番となります。
- ●H室、I室、J室の室内ユニットはデマンドマルチシリーズの室外機と接続されているのでユニットアドレスは15以下としてください。
- ●ユニットアドレス以外の設定(ex. CN40の取外しなど)は〔5〕〔1〕(1)を参照ください。

②室外ユニットアドレス・システムの設定

室外機PUHF-125、PUHY-200 PUHMZ-105A3Kについては、アドレス設定、システム設定が必要です。

●PUHF-125 について

・室外ユニットアドレスは、接続室内ユニットアドレスの小さい方に一致させます。従って

PUHF-125 →アドレスNo. 2

・7ページのファインマルチのシステム設定表よりシステムを選択します。

PUHF-125 →SW02の5・6番をOFF

●ＰＵＨＹ－200 について

・室外ユニットに接続される室内ユニットと同じアドレスをユニットアドレスとしてSWU1～SWU5に設定します。従って

ＳＷＵ１→アドレスNo. 7　　※SWG1～SWG7は出荷時のまま。
ＳＷＵ２→　〃　No. 8
ＳＷＵ３→　〃　No. 9
ＳＷＵ４→　〃　No.10
ＳＷＵ５→　〃　No.11
ＳＷＵ６→　〃　No. 0
ＳＷＵ７→　〃　No. 0　　} 未接続号機のアドレスは0にしてください。

・集中管理システムに組み込むための設定を行います。

ＳＷ３の４・５番をON(集中管理リモコン有、グループアドレス無効)

●ユニットアドレス以外の設定(CN40の取外しなど)は5〔1〕(2)を参照ください。

● PUHMZ－105A3Kについて

・室外ユニットに接続される室内ユニットと同じアドレスをユニットアドレスとしてＳＷ１～ＳＷ３に設定します。また、対応する室内ユニットの能力コードをＳW11～ＳW13に設定します。従って

ＳＷ１→アドレスNo.		12	ＳW11→能力コード		7
ＳＷ２→	〃	13	ＳW12→	〃	7
ＳＷ３→	〃	14	ＳW13→	〃	7

・集中管理システムに組込むための設定を行います。従って

ＳＷ６の２番をＯＮ(集中管理リモコン有)

③グループの編成

●各部屋単位で、運転管理させるとします。従って各部屋が１グループとなります。

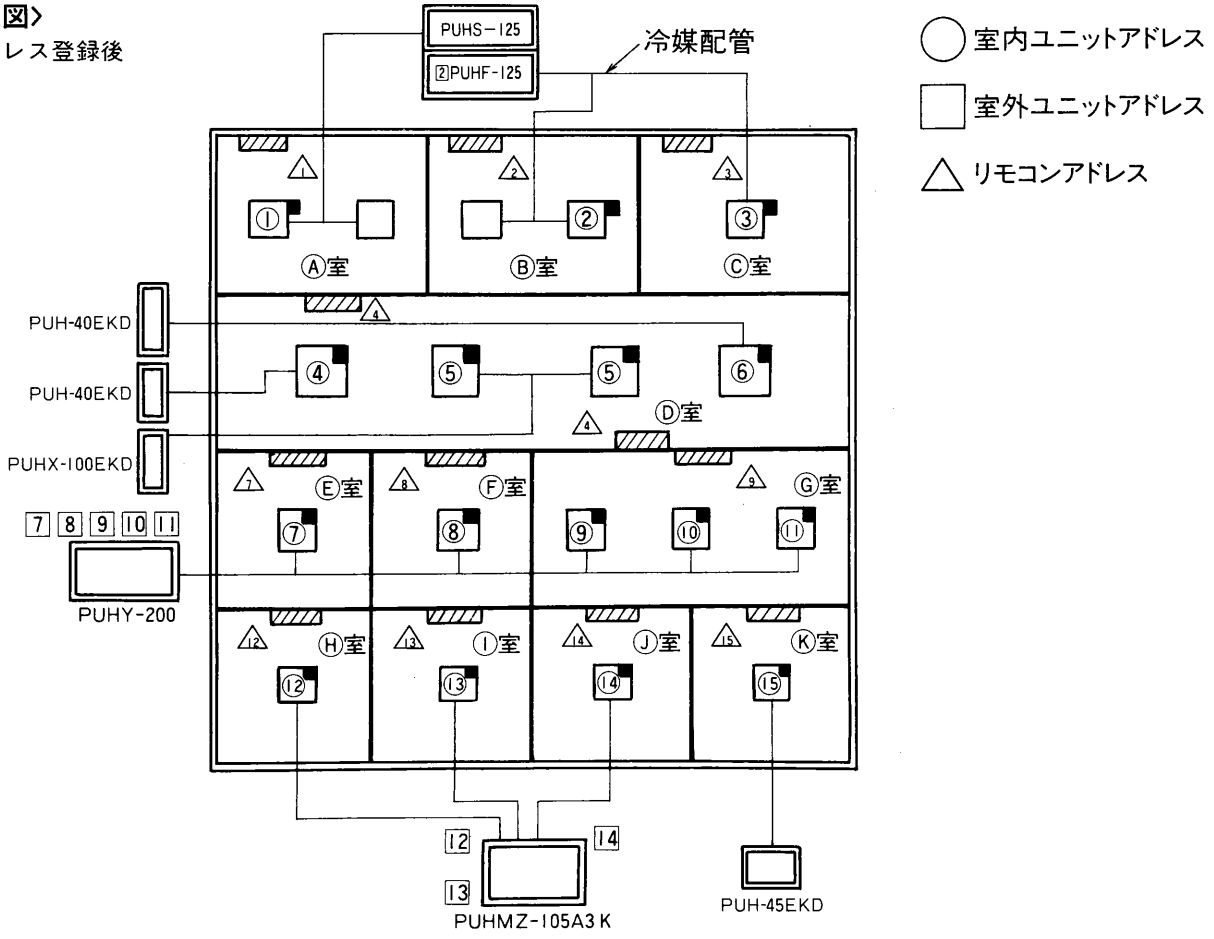
④リモコンアドレスの設定

●グループ内のユニットの最も小さいユニットアドレスを捜し、これがリモコンアドレスとなります。

⑤グループNo.の決定

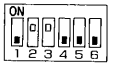
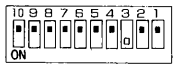
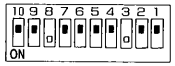
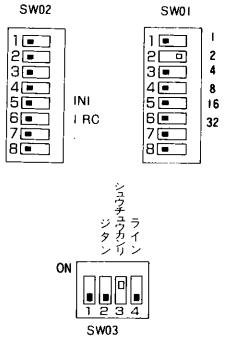
●④で決定したリモコンアドレスがそのグループNo.となります。
●集中管理リモコンでの個別制御は、このグループNo.により指定されます。

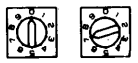
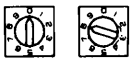
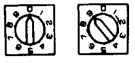
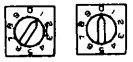
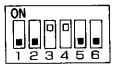
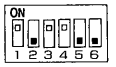
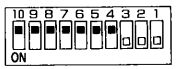
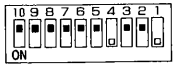
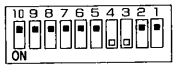
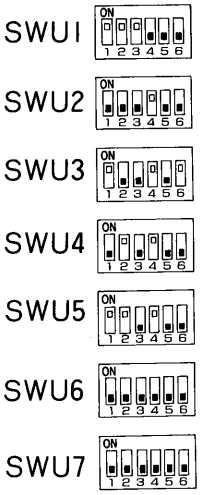
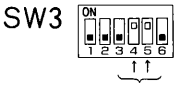
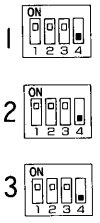
〈配置図〉
アドレス登録後



※リモコンは必ず親機側の系統に接続してください。

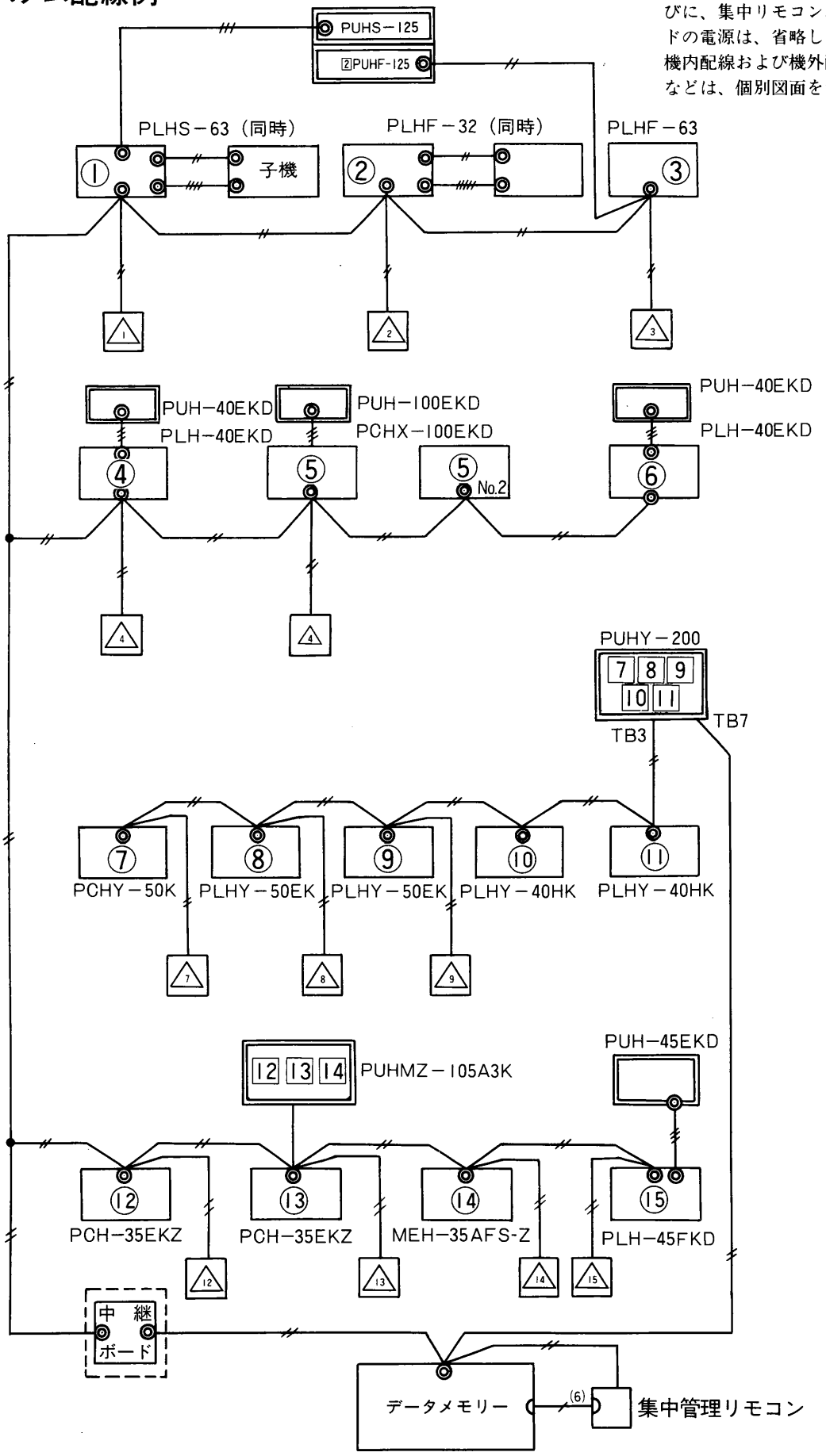
各機器のアドレス設定

部屋名		A	B	C	D			
グループNo.		1	2	3	4			
室内	機種名	PLHS－63(親機)	PLHF－32(親機)	PLHF－63	PLH－40EKD	PLH－40EKD	PCHX-100EKD-1	PCHX-100EKD-2
	アドレス	1	2	3	4	5	6	6
	SWの設定							
リモコン	アドレス	1	2	3	4		4	
	SW17の設定							
室外	機種名	PUHS－125	PUHF－125		PUH－40EKD	PUH－40EKD	PUHX－100EKD	
	アドレス	——	2		——	——	——	——
	スイッチの設定	——			——	——	——	

部屋名		E	F	G			H	I	J	K
グループNo.		7	8	9			10	11	12	13
室内	機種名	PCHY－50K	PLHY－50EK	PLHY－40HK	PLHY－40HK	PLHY－40HK	PCH－35EKZ	PCH－35EKZ	MEH-35AFS-Z	PLH－45FKD
室内	アドレス	7	8	9	10	11	12	13	14	15
室内	SWの設定									
リモコン	アドレス	7	8	9			12	13	14	15
リモコン	SW17の設定									
室外	機種名	PUHY－200					PUHMZ－105A3K			PUH－45FKD
室外	アドレス	7	8	9	10	11	12	13	14	―――
室外	スイッチの設定	ユニットアドレス SWU1 SWU2 SWU3 SWU4 SWU5 SWU6 SWU7  システム設定 SW3  ON					ユニットアドレス SW1 SW2 SW3 能力コード SW11 SW12 SW13  システム設定 SW6 ON			―――

集中管理システム配線例

注：本図は、室内・室外ユニット並びに、集中リモコン、中継ボードの電源は、省略しています。
機内配線および機外配線要領図などは、個別図面を参照ください。



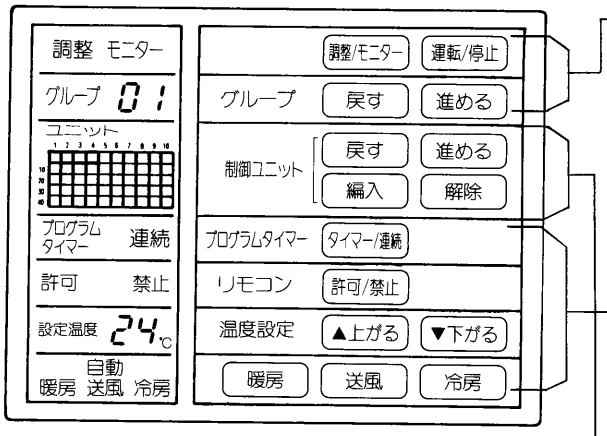
Yシリーズとその他の機種を
同一システム内に組込む場合は
Yシリーズ以外の機種は、中継ボード（PAC-SA74RB）
を介してデータメモリーと接続してください。

〔2〕集中管理リモコンへの運転パターンの設定

各ユニット間の配線作業、集中管理システム設計、各ユニット・リモコンのスイッチセット作業（登録作業）が終了したら、電源を投入したのち(100Ｖ系－集中管理システム、200Ｖ系-各ユニット)集中管理リモコンに、各ユニットのグループ編成、運転パターンを登録します。

(1) 各スイッチの名称と機能：［　　］はスイッチを「　」は液晶表示を表しています。

各スイッチは、有効キーインの時(ピッ)という音を発します。



液晶表示部　　スイッチ操作部

※上図はすべての液晶表示が点灯している状態です。

A モード切替、グループ指定スイッチ部

［調整/モニター］：モード切換スイッチ（「モニター」モードの状態でグループNo.「00」の時は使えません）

「モニター」モード時―ユニットの運転状態(運転/停止/点検)運転パターンの表示及び、運転/停止指令が可能です。

「調整」モード時―グループ編成の変更、ユニット運転パターン変更が可能です。

［運転／停止］：運転/停止スイッチ

ユニットの運転/停止スイッチです。「モニター」モードでのみ有効です。

グループ00指定時――――全ユニットの一括ON/OFF指令

グループ01～50指定時―指定されたグループのON/OFF指令

［戻す］［進める］：グループ指定スイッチ

集中管理するグループを指定します。それぞれのスイッチによりグループNo.が変化します。

グループ00指定時――全ユニット対象

グループ01～50指定―指定されたグループNo.のユニット対象

C 運転パターン設定スイッチ部

「調整」モードでのみ有効です。指定されたグループ単位の運転パターンを設定します。

［タイマー／連続］：プログラムタイマー切換スイッチ

プログラムタイマーでのタイマー運転を選択するスイッチです。プログラムタイマーを接続しない場合は必ず「連続」でご使用ください。

［許可／禁止］：リモコン運転許可/禁止切換スイッチ

「許可」―リモコン・集中管理リモコンどちらの指令も有効(後指令優先)
（「許可」の状態から「禁止」に変更した場合、その時の運転パターンが集中管理リモコンに表示されます）

「禁止」―リモコンでのON/OFF、温度設定、運転モード切換が禁止され、集中管理リモコンでのみ管理されます。（この時リモコンは、「集中管理中」の表示がでます。

温度設定・運転モード切換スイッチ

指定されたグループ内ユニットの温度設定、冷房/送風/暖房切換を行います。

B グループ編成登録・変更スイッチ部

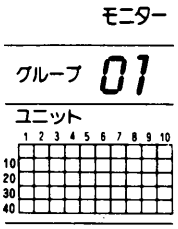
「調整」モードでのみ有効です。グループ編成登録・変更時のみ使用します。通常のご使用の時には、さわらないようにしてください。

(2) グループ編成の登録(編入)方法

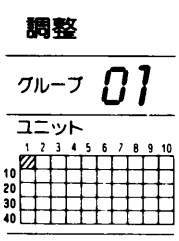
編入操作は、システム設計により決定した各グループを集中管理リモコンに登録する操作です。集中管理するユニットは以下の手順にて初期に全数集中管理リモコンに登録する必要があります。配線作業を行っていても、集中管理リモコンに登録されていないユニットは全く集中管理リモコンの指令を受けつけませんので、必ず登録作業は行ってください。

記号　■：点灯　▨：点滅　□：消灯

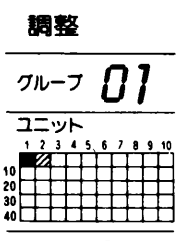
①グループ指定スイッチ［戻す］［進める］を押して、グループNo.を指定します。通常は「01」グループから始めます。



②モード切換スイッチ［調整/モニター］を押し「調整」モードにします。この時ユニット表示部は、グループNo.と同じユニット番号のブロックが点滅します。このユニット番号はユニットアドレスに一致します。（「01」グループの時ユニット番号１が点滅)。電源投入時は、「調整」モード「01」グループの表示になります。

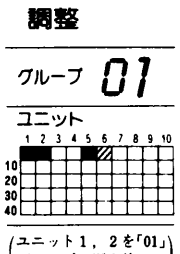


③点滅しているブロックのユニットを編入する場合は、B部のスイッチ［編入］を押して下さい。編入の登録を完了するまでに、約15秒かかります。編入中は、グループNo.が点滅し、グループ指定スイッチ［戻す］、［進める］及びB部のスイッチ［戻す］、［進める］、［編入］［解除］は無効となります。編入の登録が完了すると点滅していたユニット番号のブロックが点灯し、点滅は、次のユニット番号のブロックに移動します。これで点灯したユニット番号（ユニットアドレス）のユニットは、そのグループに編入されたことになります。



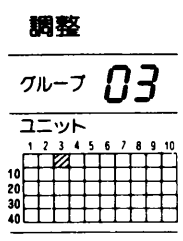
（ユニット１と「01」グループに編入した状態）

④同様にして、そのグループに属するユニットをB部スイッチ［編入］を押して登録してください。



（ユニット１，２を「01」グループに編入後、ユニット５も「01」グループに編入した状態

⑤グループ内の全ユニットの編入登録が完了したら、グループ指定スイッチ［進める］を押し、次のグループNo.にかえます。この時のグループNo.は今まで登録していないユニットアドレスと同じ数にしてください。グループNo.と同じ数のユニットアドレスのブロックが点滅します。登録は上記と同様に実施します。

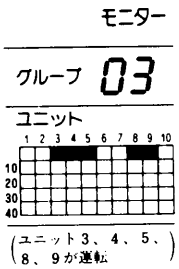


⑥すべてのグループ登録が完了し、システム内の全ユニットをグループ登録させたら、モード切換スイッチ［調整/モニター］を押し、「モニター」モードにもどしてください。

(3) 解除の方法

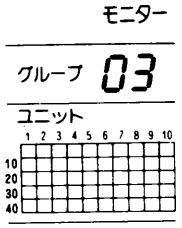
解除操作は、グループ編成の変更時(そのグループの配下からはずす)に行います。解除されたユニットは、集中管理のシステムからはずれます。集中管理リモコンの指令には従いません。通常は一度解除した場合再度登録(編入)作業が必要になります。

①グループ指定スイッチ[戻す]、[進める]を押して、グループNo.を指定します。解除したいユニットの存在するグループNo.を指定ください。

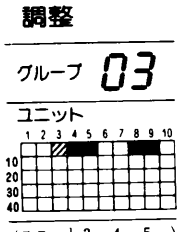


(ユニット3、4、5、8、9が運転

②モード切換スイッチ[調整/モニター]を押し、「モニター」モードにします。この時運転しているユニット(点灯しているブロック)がある場合、[運転/停止]スイッチを押して、そのグループ内のユニットを全て停止させてください。
ユニット表示部が全ブロック消灯したのを確めてから次の操作に移ってください。

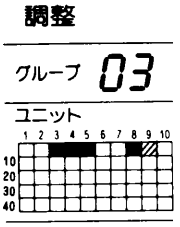


③モード切換スイッチ[調整/モニター]を押し「調整」モードにします。この時ユニット表示部は、グループNo.と同じユニット番号のブロックが点滅し、そのグループの配下となっているユニット番号のブロックが点灯します。

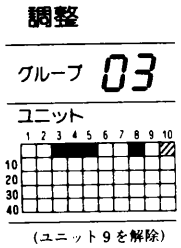


(ユニット3、4、5、8、9が「03」グループの配下

④B部スイッチ[戻す]、[進める]により点滅のブロックを解除するユニット番号まで移動します。ユニット表示の点滅ブロックの移動は、グループNo.と同じ数から50までの範囲で可能です。(「03」グループの場合は、ユニット番号3～50の範囲)



⑤B部スイッチ[解除]を押してください。解除が完了するまでは、約15秒かかります。解除中は、グループ表示が点滅し、グループ指定スイッチ[戻す]、[進める]及びB部スイッチ[戻す]、[進める]、[編入]、[解除]は、無効となります。解除が完了すると点滅していたユニット番号のブロックは消灯し、点滅は次のユニット番号のブロックに移動します。これで消灯したユニット番号(ユニットアドレス)のユニットは、解除されたことになります。



(ユニット9を解除)

⑥解除の操作を終えましたら、モード切換スイッチ[調整/モニター]を押し、「モニター」モードにもどしてください。

[解除操作における注意事項]

1．ユニットを解除する時は、必ず停止状態で行ってください。運転中に解除すると、表示が残ることがあります。
2．親機(グループNo.と等しいユニットアドレスのユニット)を解除した場合は、そのグループの全ての子機も解除されます。グループ内配下ユニットすべて登録(編入)作業を行ってください。
3．解除されたユニットは、集中管理リモコンの指令には従いません。必ず何れかのグループに編入登録してください。

(4) 各グループ単位での運転パターンの設定(A、B部のスイッチ)

(2)で決定したグループ単位で、集中管理リモコンからの運転パターン指令を設定します。一度設定すれば、グループ単位でデータメモリーに記憶され、以後そのパターンにて各ユニットは運転します。設定は「調整」モードにて行います。

スイッチ	プログラムタイマー切換スイッチ [タイマー/連続]		リモコン運転 許可/禁止スイッチ [許可/禁止]		温度設定スイッチ [▲上がる] [▼下がる]	運転モード切換スイッチ [暖 房] [送 風] [冷 房]
液晶表示	「プログラムタイマー」	「連 続」	「許 可」	「禁 止」	「設定温度 00℃」	選択された運転モード表示
機 能	●プログラムタイマー接続時その運転指令により、各グループは自動的に運転。(別売スケジュールタイマーも同様)	●集中管理リモコンのスイッチにより各グループは運転/停止。 ●タイマー運転はできません。	●リモコンのスイッチ機能は有効。 ●集中管理リモコンとリモコンどちらの指令も併用できます。(後入力優先)	●リモコンの次のスイッチは無効となり、集中管理側でのみ制御します。 ○運転/停止 ○冷房/送風/暖房切換 ○室温設定○タイマー切替 ●その他のスイッチは有効です。	冷房 17～28℃ 暖房 19～30℃ 冷房自動 19～28℃ の範囲で1度ごとに温度設定可能。	室内ユニットが冷暖自動運転を選択している時には、 ●[送風]が冷暖自動スイッチとなり、 自 動 / 自 動 暖房 又は 冷房 と表示されます。

(5) コピー機能

別売プログラムタイマー、スケジュールタイマーを接続してお使いの場合は、グループ1に対して、タイマーで設定された運転パターンのデータを、グループ2以上の指定したグループまでの全てのグループにコピーすることができます。数多くのグループをタイマー運転する場合、各グループの基本となる運転パターンをグループ1に設定し、この内容をコピーし、その後、各グループについて修正をすることによって、個々のグループについてデータを始めから設定する手間が省けます。

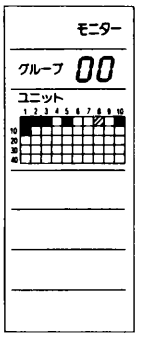
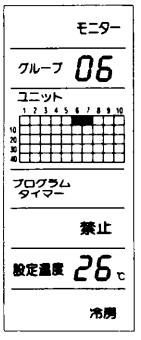
また、グループ1の設定を全てクリアして、このコピー機能を使うとタイマーデータを簡単にクリアすることができます。

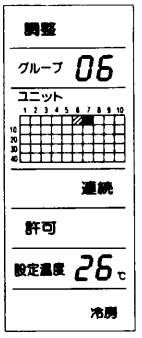
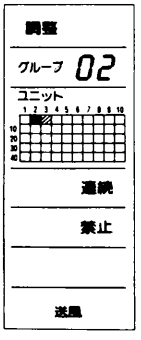
〔操 作 方 法〕 [25ページに注意事項があります。ご参照ください。]

①集中管理リモコンにて、グループ1を呼び出し、タイマーで運転パターンを設定します。
②集中管理リモコンにて、コピーするグループの範囲の最大のグループNo.を呼び出します。
③データメモリー基板上にあるコピースイッチ(リセットスイッチ)を押します。
④数秒後、集中管理リモコンのグループ表示は01となりコピー完了となります。

〔3〕集中管理リモコンの操作方法

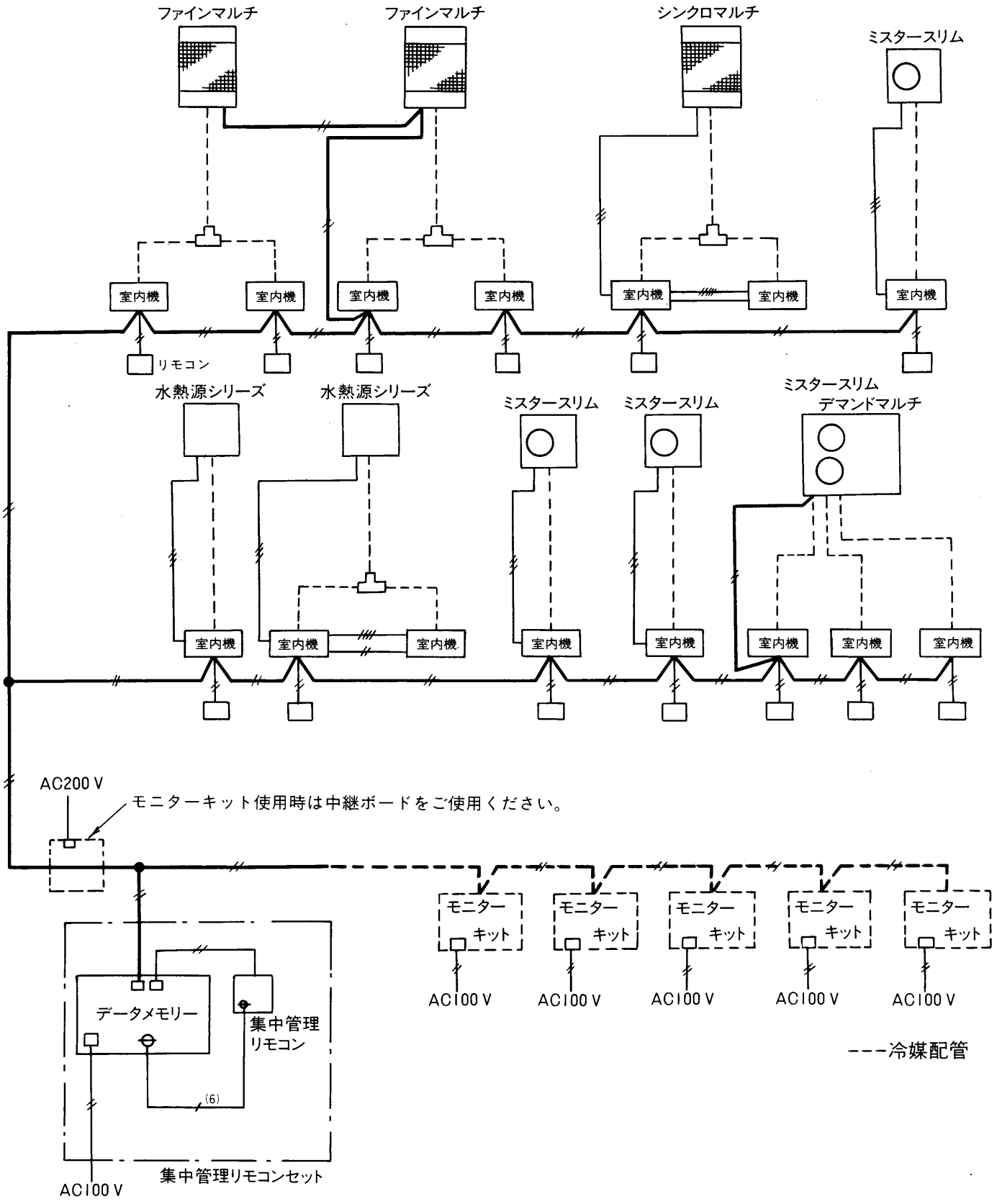
A C部のスイッチを使用します。「モニター」モードの時には、A部のスイッチしか使えません。
〔1〕の(4)のシステム例により、ご説明します。

	モード	操作方法	液晶表示
(1)全ユニットの運転状態確認	モニター	①モード切換スイッチ[調整／モニター]を押し、「モニター」モードにします。 ②グループ指定スイッチ[戻す]、[進める]によりグループNo.を「00」にします。この時、ユニット表示部は次のように全ユニットの運転状態が表示されます。 運転中　点灯 ■ 停止中　消灯 □（ユニットの存在しない番号も含む） 点検中　点滅 ▨ 右図は、1～11番のユニットのうち、 1．2．3．5．10．11 は 運転中 8 は 点検中 他は停止状態を表しています。	
(2)全ユニットの一斉ON/OFF	モニター	(1)と同様「モニター」モード、グループNo.「00」にします。この状態で[運転／停止]スイッチを押せば、全ユニットの一斉ON／OFFができます。ONかOFFかはユニット番号1の運転状態により決まります。 ユニット番号1運転中：[運転/停止]スイッチキーイン→全ユニット一斉OFF ユニット番号1停止中：[運転/停止]スイッチキーイン→全ユニット一斉ON ユニット表示部のユニット番号1のブロックは[運転/停止]スイッチに同期して表示しますが、他のユニット番号のブロックは各ユニットからの信号により表示しますので、表示には若干の時間遅れが生じます。 注意：一斉ON/OFFの操作は短時間(20秒以内)に連続して行わないでください。送信遅れの影響で指令と異なった状態（運転/停止）となることがあります。	
(3)グループ単位の運転状態・運転パターンの確認 〔グループ06を指定した場合で説明〕	モニター	①モード切換スイッチ[調整／モニター]を押し、「モニター」モードにします。 ②グループ指定スイッチ[戻す]、[進める]を押し、グループNo.を指定します。（右図は「06」グループ） この時、指定されたグループの運転状態、運転パターンが表示されます。（グループ指定後約2秒後） 右図（「06」グループ）の場合 運転状態　ユニット番号6．7運転中 運転パターン　プログラムタイマーで運転中 リモコン運転禁止 冷房運転・設定温度26℃ ③他のグループも確認したい場合は、グループ指定スイッチによりグループNo.を指定すれば、同様に表示されます。	
(4)グループ単位でのON/OFF	モニター	(3)と同様、「モニター」モードで、グループNo.を指定します。この状態で[運転／停止]スイッチを押せば、グループ内のユニットのON／OFFができます。ONかOFFかは、親機（グループNo.と等しいユニット番号のユニット）の運転状態によって決まります。 親機運転中：[運転/停止]スイッチキーイン→グループ内ユニット停止 親機停止中：[運転/停止]スイッチキーイン→グループ内ユニット運転 ユニット表示部の親機のブロックは[運転／停止]スイッチに同期して表示しますが、子機のブロックは各ユニットからの信号により表示しますので、表示には若干の時間遅れが生じます。	

	モード	操作方法	液晶表示
（5）グループ単位での運転パターンの変更 グループ単位で、プログラムタイマー運転の選択（プログラムタイマーで運転か、集中管理リモコンで運転かの選択）、リモコン運転の許可／禁止、設定温度、運転モードの選択ができます。	調整	①グループ指定スイッチ［戻す］、［進める］により、グループNo.を指定します。この時、記憶されている前設定が表示されます。（グループ指定後、通常約2秒後） ただし、そのグループに編入されているユニットがない場合、運転パターンは表示されません。 ②モード切換スイッチ［調整／モニター］を押し、「調整」モードにします。「モニター」モードでは、運転パターンの変更はできません。 ③プログラムタイマー運転の選択を変更する場合は、［タイマー／連続］スイッチを押します。 ・「連続」の場合 集中管理リモコンの［運転／停止］スイッチにより運転／停止します。プログラムタイマーを接続しない場合は必ず、「連続」でご使用ください。 ・「プログラムタイマー」の場合 別売プログラムタイマーを接続した時、有効となります。プログラムタイマーによるグループ単位の設定パターンに基づき、自動的に運転を行います。（別売スケジュールタイマーも同様です。各説明書を参照ください。） 注意：プログラムタイマー、集中管理リモコンをともに調整モードにした時は集中管理リモコンをモニターモードに変更後プログラムタイマーをモニターモードに変更ください。 ④標準リモコンでの運転の許可／禁止を変更する場合は、［許可／禁止］スイッチを押します。 ・「許可」の場合 標準リモコンの各スイッチは有効です。標準リモコンと集中管理リモコンのどちらの指令も併用できます。（後指令優先） ・「禁止」の場合 標準リモコンの運転/ 停止、冷房／送風／暖房、室温調節、タイマー切換の各スイッチは無効となり、集中管理リモコンの指令で動作します。この時、標準リモコンは「集中管理中」を表示します。その他のスイッチは有効です。 ⑤設定温度を変更する場合は、温度設定スイッチ［▲上がる］、［▼下がる］を押します。冷房時19～30℃、暖房時17～28℃、冷暖自動時19～28℃の範囲で1℃ごとに温度設定できます。 ⑥運転モードを変更する場合は、［暖房］、［送風］、［冷房］の各スイッチを押して、運転モードを選択します。 ⑦運転パターンの変更が完了したら、切換モードスイッチ［調整／モニター］を押して、「モニター」モードにもどします。 ※運転パターンの変更を行った場合、グループNo.が点滅する場合があります。これは、送信待ちの状態となっており、この間、グループ指定スイッチは無効となります。	
（6）グループ編成を変更する場合 ［注意］この例の場合「グループNo.＝グループ内最小のユニットアドレス＝リモコンアドレス」の原則に合わせ、グループ1内のリモコン2個のうち1個をリモコンアドレス1から2に変更しませんと、2号機をリモコンで運転することはできません。	調整	〔1〕の(4)システム中、A室の2号機（ユニットアドレス2）をグループ1からはずし、単独運転させる場合、 ①［調整／モニター］スイッチを押し「調整」モードにします。 ②グループ指定スイッチでグループ「01」を呼出します。 （この時ユニット表示部は1番点滅、2、3番が点灯） ③制御ユニットスイッチの［進める］を1回押して、点滅部分を2番に移動させます。 ④［解除］スイッチを押すと2番がグループ「01」より解除され、ユニット表示部は消灯します。 ⑤グループ指定スイッチ［進める］を押し、グループNo.を「01」から「02」に変更します。 ⑥2番が点滅しているのを確認してから［編入］スイッチを押し、編入が完了すると2番が点灯し、グループ編成の変更終了です。 ※このようにグループ内のユニットアドレスは必ずしも連番である必要はなく、自由に選択することは可能ですが、システム設計段階では、管理が繁雑になりますので、連番で採ることをお勧めします。	 上図は、グループ「02」に2番を編入した状態

6 配線系統図

三菱電機パッケージエアコン用集中管理リモコン配線系統図



・集中管理リモコン、モニターキットにはＡＣ100Ｖ、室内外ユニット、中継ボードにはＡＣ200Ｖ電源が必要です。

・集中管理リモコン・室内外ユニット、中継ボード、モニターキット間の渡り配線は、無極性の２線にて接続してください。（φ1.6以上のＶＶＦケーブル）

システム例と制約事項…各システムにより制約条件が異なりますので下表から対応するシステムの制約事項を事前周知くださるようお願いします。

〈Yシリーズ機種を含まないシステム〉

システム部品構成			制約事項				
集中管理リモコン	中継ボード	モニターキット	接続可能台数 室内ユニットコントローラー	接続可能台数 リモコン	接続可能台数 ※1 マイコン	伝送線総延長距離 ※2	使用配線
○	—	—	50以下	25以下	75以下	200m以下	▶室内機～リモコン シース付ビニールコード又はケーブル 0.5～0.75mm² 12m以下 12mを超える場合は、超える部分をVVFケーブル∅1.6以上として伝送線総延長距離の制限の内数としてください。 ▶集中管理リモコン～中継ボード～モニターキット～室内機～室外機 VVFケーブル∅1.6以上
			20以下	10以下	—	500m以下	
○	○	—	50 (40) 以下	50 (40) 以下	100 以下	▶中継ボード以降は各々中継ボードについて上記台数のとき 200m又は500m以下 ▶集中管理リモコン～中継ボード～モニターキットをつなぐ伝送線 500m以下 中継ボード＋モニターキット台数≦13台 ( )内はシステムにファインマルチが含まれるとき	
○	○	○					
—	—	○	このシステムは信号減衰が大きいため使用できません。				
○	—	○					

※1 マイコンの個数は、機種により異なります

室内ユニットコントローラー リモコン PUHF-125・5 PUHMZ	各 1
PUHU-125・5 PUHF-2502 1号機、2号機に各々1個	2

※2 伝送線総延長距離とは、集中管理リモコンと各ユニットとの距離ではなく、前ページの配線系統図の太線の部分の総和の長さとなります

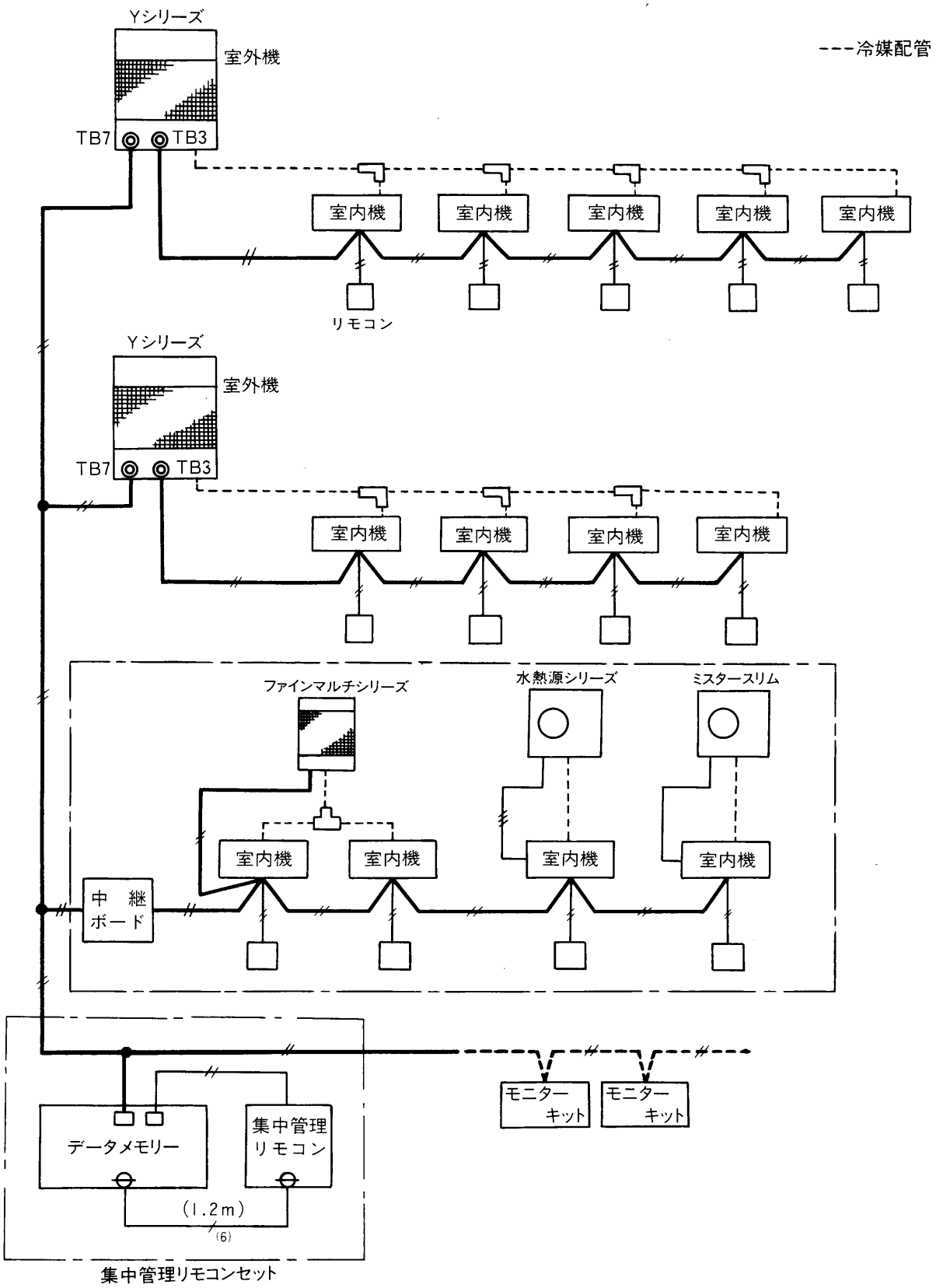
システム拡張用別売部品

中継ボード → 伝送線距離を大幅に拡大できます。
(PAC－SA74RB)

モニターキット → 現地の外部表示装置・集中管理システムを容易にドッキングできます。
(PAC－SA73MK)

中継ボード、モニターキットを使用される時は、中継ボード、モニターキットの各取扱説明書をよくお読みください。

三菱電機パッケージエアコン用集中管理リモコン配線系統図
（Ｙシリーズがある場合）



ＹシリーズとＦ＆Ｓシリーズ、水熱源シリーズ及びミスタースリム機種が集中管理システム内に混在する場合、必ず、Ｆ＆Ｓ、水熱源及びミスタースリム側に中継ボードを接続してください。

また、Ｙシリーズ用室外機、中継ボード、モーターキットの接続台数は合計13台としてください。

ご注意事項

集中管理リモコン（データメモリ）の電源は、室内外機の電源よりも前に投入してください。
室内外機の電源を先に投入しますと、運転モードが全て送風になる場合があります。

〔Yシリーズを集中管理システムに組み込む場合、次の点にご注意ください〕

1．Yシリーズの室外機が接続された伝送線にYシリーズ以外のユニットを直接継続しないでください。
⟶ 中継ボードを介してください。

2．Yシリーズの室外機と集中管理リモコンを接続する伝送線には以下の制限があります。

伝送線：∅1.6以上　総延長距離500m以下

接続ユニット：Yシリーズ用室外機
中継ボード
モニターキット
} 合計13台以下

3．その他、中継ボード、モニターキット使用時の注意点がありますので、中継ボード、モニターキットの取扱説明書をよくお読みください。

4．Yシリーズのみのシステムは室内機50台まで接続できますが、ファインマルチと混在する場合は室内機合計40台までとしてください。

〔デマンドマルチ機種を集中管理システムに組み込む場合、次の点にご注意ください〕

1．デマンドマルチ用室外機に接続された室内機には、15以下のアドレスを設定してください。

2．デマンドマルチ用室外機に接続された室内機には1台で1グループを構成するようグループ編成してください。
複数台でのグループ編成はできません。

〔F＆Sシリーズ(ファインマルチ)をご使用時、次の点にご注意ください〕

集中管理リモコンによる運転が正常に開始され、シーズン終了またはシーズン開始時などにユニット電源を操作する場合は、以下の手順で操作頂くようお願い申し上げます。

①ユニット電源を「切」とする場合
特定ユニットあるいは全ユニットの電源を「切」とする場合には、手元リモコンまたは集中管理リモコンにより、該当ユニットをあらかじめ「ＯＦＦ」としてください。
ＯＮの状態で電源を「切」としますと、モニター表示とユニット運転状態が異なる場合があります。

②ユニット電源を「入」とする場合
特定ユニットあるいは全ユニットの電源を「入」とした場合には、集中管理リモコンにより全ユニットを、いったん「一斉ＯＮ」としてください。
ファインマルチで「一斉ＯＮ」としない場合には、手元リモコンに〝Ｕ７〟が表示され運転できない場合があります。尚、停電復旧時も同様の操作が必要となります。

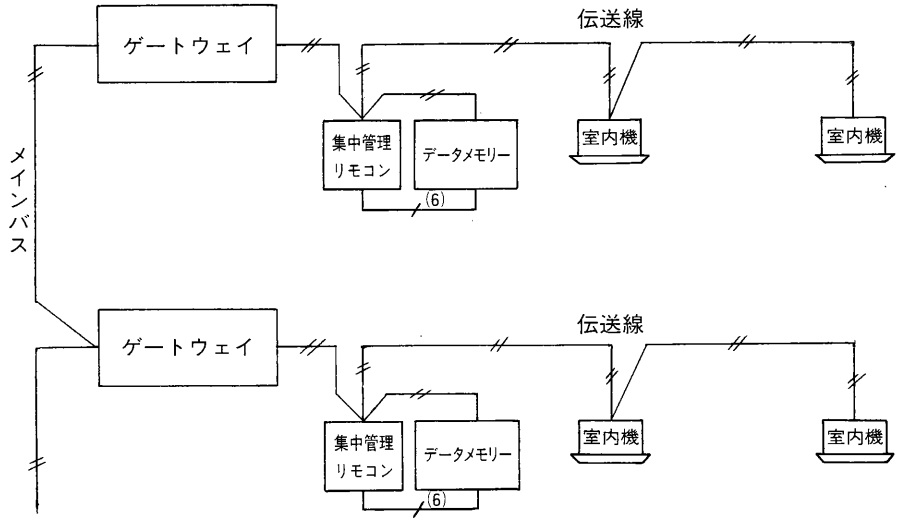
※特に、接続している室内機台数が多い場合、「一斉ＯＮ」しても〝Ｕ７〟表示をする場合がまれにありますのでその場合は、手元リモコンもしくは集中管理リモコンのグループ個別指令にて、一旦ユニットをＯＦＦし、再度ＯＮしなおしてください。

「一斉ＯＮ」の方法は次の手順となります。
- 「モニター」モード、グループNo.「00」にします。
- ユニット番号1停止中の時…運転／停止スイッチをキーインする(一斉ＯＮ)
- ユニット番号1運転中の時…運転／停止スイッチをキーイン(一斉ＯＮ)して全ユニットの停止を確認してから再度運転／停止スイッチをキーインする(一斉ＯＮ)

〔空調管理システム内で集中管理リモコンをご使用になる場合、次の点にご注意ください〕

集中管理リモコンを空調管理システム制御構成部品のゲートウェイ(G/W)と同一伝送線に接続する場合は、集中管理リモコンのディップSW17-0をONにしてください。

(個別分散空調システムに於ける危険分散をより高度に実現するために、ブロック毎への集中管理リモコンの設置をお勧めします。)



ゲートウェイの短絡コネクタCN40を取外してください。

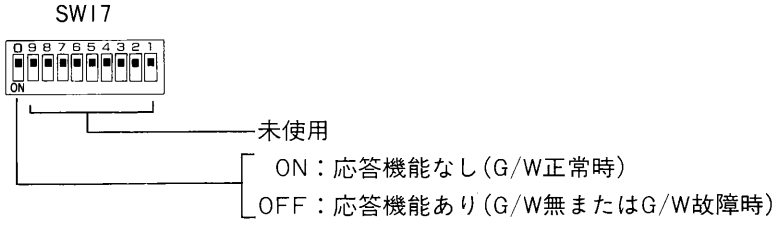
1 空調サブシステム内での役割

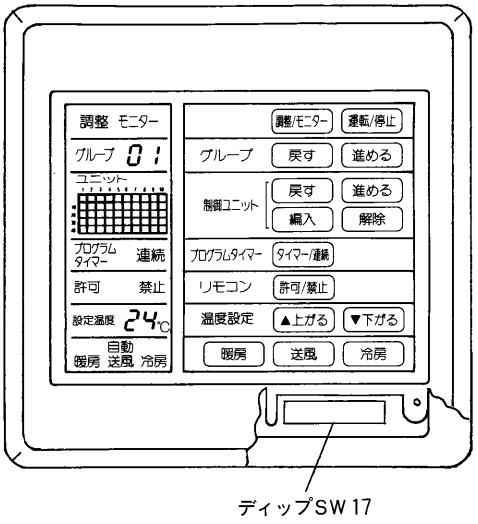
①ビル管理システム側で、空調機のグルーピング機能を持っていないとき、集中管理リモコンによりグループ編成を行います。

②ゲートウェイあるいはゲートウェイより上位のコントローラが万が一の故障の場合、集中管理リモコンにより、マニュアルで空調機の制御、監視を行えます。
(バックアップ機能…危険分散の実現)

2 ゲートウェイ故障時のバックアップ方法

ゲートウェイが正常動作している場合は、空調機側から送られてくる信号に対しての応答はゲートウェイが行いますが、ゲートウェイ故障時には、この応答機能を集中管理リモコンに切換える必要があります。この切換えを集中管理リモコンのディップSW17-0で行います。



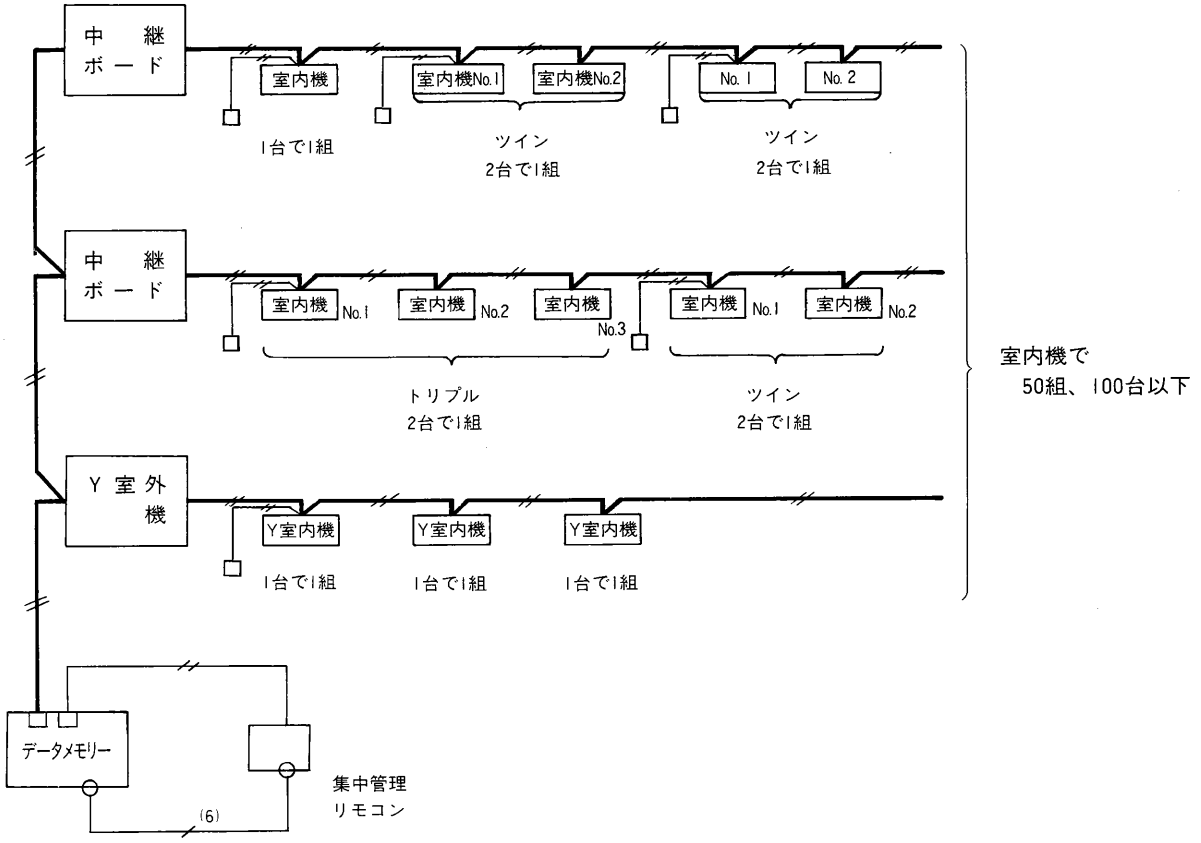


※ゲートウェイが正常に復帰したらディップSW17-0は"ON"にもどしてください。

〔フリーコンポ(ツイン、トリプルタイプ)を集中管理する場合は、次の点にご注意ください〕

フリーコンポを使ってツイン、トリプルの組合せをつくって、これらを集中管理システムに組込む場合は、ツインNo.1とNo.2で1組、トリプルNo.1、No.2、No.3で1組と数えて標準タイプ(1台で1組として)との合計が全体で50組以下となるようにしてください。

また、集中管理システムに組込まれる室内ユニットの数(ツインタイプは2台、トリプルタイプは3台)は全部で100台以下としてください。ただし、この場合にも、伝送線の制約事項(ページ20)に規定される伝送線長さ、接続台数の条件を満足するよう中継ボードを使って配線系統を分割してください。



〔コピー機能ご使用時は、次の点にご注意ください。〕

①コピーされる内容はタイマーで設定されるものだけです。
②コピー機能を実行すると、全ての接続されたユニットは停止状態となります。コピー機能は、ユニットの運転を開始する前にお使いください。
③コピー機能をお使いの時は、接続されたタイマーがモニターモードになっていることを確認してから、コピースイッチ(リセットスイッチ)を押してください。調整モードのままコピースイッチ(リセットスイッチ)を押すと、コピーがうまく行われない場合があります。
④コピーは、グループ2から集中管理リモコンで表示されているグループNo.までのすべてのグループにコピーされます。

〔タイマーご使用時、次の点にご注意ください。〕

①集中管理リモコンに付属のデータメモリーは、別売のプログラムタイマー、スケジュールタイマーのどちらも接続可能ですが、使用の途中で、プログラムタイマーからスケジュールタイマー（または、その逆）に接続変更されますと，タイマーで設定されるデータは全てクリアーされます。

7 サービスをお申しつけの前に

集中管理システムにおいて運転できない場合、サービスをお申しつけの前に次の点をお調べください。

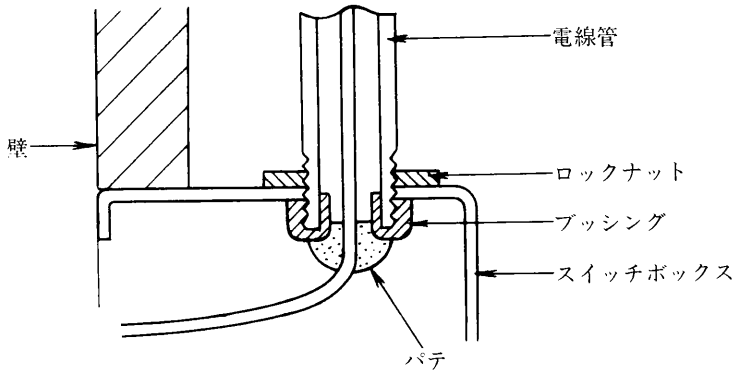
液晶リモコン	集中管理リモコン	原　　因	処　　置
運転/停止 スイッチを押しても“ピッ”と音が出ず、表示も表れない。	表示が出ない。	停電(AC100V)	停電復帰後、運転させる。
		元電源(AC100V)が入っていない。	元電源を入れる。
		元電源(AC100V)のヒューズが切れている。	ヒューズの交換。
		漏電ブレーカが切れている。	漏電ブレーカを入れる。
運転/停止 スイッチを押すと“点検E0”を表示する。	運転/停止 スイッチを押すとグループNo.と“E0”を交互に表示する。	ユニット側電源(AC200V)が停電。	停電復帰後、運転させる。
		元電源(AC200V)が入っていない。	元電源を入れる。
		元電源(AC200V)のヒューズが切れている。	ヒューズの交換。
		漏電ブレーカが切れている。	漏電ブレーカを入れる。
	運転/停止 スイッチを押すと“ピッ”と音がするが、親機のユニット表示が点灯しない。	グループ編成の解除操作を行った。	グループ編成の登録を行った後、運転させる。
“ー集中管理中ー”を表示し 運転/停止 スイッチを押しても運転しない。	“禁止”を表示し、リモコン禁止の設定になっている。	集中管理リモコンで、リモコン禁止に設定されている。	集中管理リモコンでリモコン許可にすれば液晶リモコンでも運転できる。
	運転/停止 スイッチを押すと“ピッ”と音がするが、親機のユニット表示が点灯しない。	グループ編成の登録作業を行っていない。又は解除操作を行った。	グループ編成の登録を行った後、運転させる。

集中管理リモコンを「モニター」モードにし、ユニット表示部に点滅しているブロックがあった場合は、そのブロックのユニット番号（ユニットアドレス）のユニットに不具合が生じたことを表します。そのユニットが属するグループの液晶リモコンに“点検”を表示するとともにユニット番号と点検モード（ P1~P8. U1~U9 ）を交互に表示します。
“点検”を表示したリモコンのグループに属するエアコン本体の取扱説明書をよくお読みになり、エアコン本体の不具合を確認してください。
以上のことをお調べになっても、なお不具合の時は、エアコンの元電源を切り、お買上げ販売店に、製品名、不具合の状況を連絡して下さい。また、液晶リモコン表示部に“点検”と“ P1~P8. U1~U9 ”、“ E0 ”が表われた時はその表示内容を連絡してください。
なお、ご自分での修理は、絶対にしないでください。

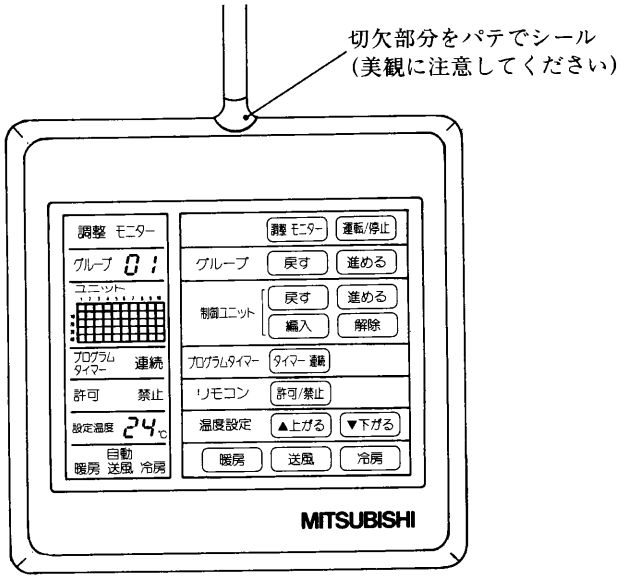
ご注意

集中管理リモコンへ配線する場合、集中管理リモコン又は電線管等の配線取出部分はパテで確実にシールしてください。

●スイッチボックスに取付ける場合



●壁等に直接取付ける場合



三菱電機株式会社

KA79A013H05